



# ハヤブサ

ニュース No.49

2020. 6. 16

発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込口座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

絶滅危惧種  
京丹後のハヤブサ

## 米軍Xバンドレーダー基地撤去 7/5 京都集会と京丹後市議選祝勝会 京丹後宇川の風代表・永井友昭さんを迎えて 事務局長 山本 純

京都連絡会は7月5日(日)、京丹後現地から永井友昭さん(京丹後宇川の風・代表)を招き、集会を開催します。永井さんの京丹後市議会議員選挙での当選という新しい条件のもとで、米軍Xバンドレーダー基地撤去闘争のこれからをどのように展望していくのか。京都連絡会のこの間の活動を振り返りつつ、永井さんとともに考えていきたいと思ひます。

なお、集会終了後、引き続き同じ会場で「永井友昭さんの市議選勝利を祝う京都のつどい」(永井友昭さんを応援する会主催)が開催されます。こちらもぜひご参加ください。

### 米軍Xバンドレーダー基地撤去！ 7・5 京都集会

京丹後宇川の風代表  
永井友昭さん(京丹後市議会議員)を迎えて～

7月5日(日) 13時30分～15時  
京都府部落解放センター4階ホール  
参加費500円(要 相談)

主催 米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会

### 永井友昭さんの京丹後市議会選挙 勝利を祝う京都のつどい

7月5日(日) 15時30分～17時  
京都府部落解放センター4階ホール

乾杯あり 参加費 500円  
主催 永井友昭さんを応援する会

## 「街なかビラ」の取りくみ

5月はコロナ感染予防のため中止。久しぶりに再開しました。当日は早くも32.4℃の夏日でした。



第97回6月9日(火)京阪「藤ノ森」周辺 5人(写真)

- ◆人通りはさほど多くはなかったが、ビラの受け取りは良くて7割位の人に受け取って貰えた。
- ◆学校帰りの女生徒にも結構受け取って貰えた。
- ◆「(基地ができて)良かった」「もっと大きくなればいい」「安心だから」と立ち去る中年の男性。
- ◆「米軍を減らすには自衛隊を増やせばいい」
- ◆この問題を知らない人が結構多かった。
- ※「藤ノ森」は初めての場所。新しい所に行ってビラで広く知らせていく必要を感じました。いよいよ7月に100回目を迎えます。「街ビラ」を始めて4年半です。京都市内は広いので行けていない場所はまだまだあります。新たな気持ちで続けたいものです。

＝今後の日程です＝

- 第98回 6月22日(月)出町商店街周辺  
集合場所は「河原町今出川」交差点の北東角
- 第99回 7月13日(月)大手筋商店街  
集合場所は京阪「伏見桃山」駅前です。
- 第100回 7月28日(火)三条商店街  
集合場所は市バス「堀川三条」停前です。  
いずれも時間は11:00～12:00です。

暑さ厳しくなります。無理のない参加をよろしく。  
連絡先090-5672-1597(白井)

## 沖縄県議選

### 玉城デニー県政与党が過半数揺る

#### がぬ辺野古阻止の民意

川口 健次



#### 6/7沖縄県議・玉城デニー県政与党過半数(琉球新報)

任期満了に伴う沖縄県議会議員選挙(定数48人)が、6月7日投開票され、辺野古新基地建設阻止を掲げる玉城デニー知事の与党が25議席を獲得し、「辺野古反対」議員による過半数を維持しました。

2年前の知事選で故翁長雄志知事の遺志であった「辺野古阻止」を引き継ぐ玉城デニー知事にとって初の県議会選挙は、この2年間の県政の信任が問われるとともに、2年後の知事選に向けて「中間評価」と位置づけられる重要な闘いでした。コロナ感染症対策で、候補者をはじめ運動員も街頭演説を聞く支持者もマスクで出発式も決起集会もまともに開催できず、各陣営は苦心を余儀なくされたとのことでしたが玉城デニー知事は選挙区民にそれぞれの地域課題と結んだ政策を訴え、ツイッターやラインで、「辺野古新基地建設の2.5兆円の埋立て予算はコロナで苦しむ国民の補償に」「平和で誇りある新時代沖縄をみんなでつくりあげる」と呼びかけ、「私のブレない信念です。三密を避けながら投票所に足を運んで民意を示しましょう」と連日、何度も発信。投票所に足を運んだ若者世代も多かったといえます。

選挙結果は与党系議員25人に対し、自民など野党系と公明など中立系議員を含めれば23人という議会構成になります。与党から議長1人を選出するため勢力は24人対23人と拮抗します。私たちの連帯の取り組みも正念場です。

辺野古・高江・宮古島の新基地建設阻止闘争で土木技術専門家の立場から政府・沖縄防衛局の違法性を厳しく追求し、市民運動の最前線で闘う奥間政則さんは「自民党が議席を伸ばし、県議会が拮抗する厳しい結果だ。与野党逆転を狙う政権は、次の知事選をターゲットにしている」と、選挙結果を冷静に分析し、「10日水

曜日から工事が再開される情報がある。いよいよ現場での闘いは正念場を迎える」と決意を語られました。

辺野古新基地建設の工事作業員からもコロナ感染者が出たため2カ月近く工事は止まっていますが、6月12日民意を無視して安倍政権は工事を再開、土砂投入が強行されています。許せません！

「沖縄平和と市民連絡会」の北上田毅さんが呼びかける「辺野古新基地の設計変更申請書」に対する意見書を全国から集中しましょう！

京丹後米軍Xバンドレーダー基地をはじめ全国で強化される基地建設・拡張の動きをストップさせ、「基地はどこにもいらない！」の沖縄民衆の心とつながり破綻している辺野古新基地建設計画を葬りましょう！

## 関西生コン弾圧事件報告

文責：瀧川順朗



京都地方裁判所前「仲間を今すぐ釈放せよ！」の声

武委員長が5月29日に641日ぶりに、湯川副委員長が6月1日に644日ぶりに保釈された。2人が最初に逮捕されたのが2018年8月28日。逮捕から保釈までの21カ月の間に武委員長は計6回、湯川副委員長は計8回も繰り返し逮捕されています。

2人の保釈は、全国の労働組合や市民団体、労働法学会有志、自治体議員、弁護士など多くも皆さんの支援で勝ち取られたことは言うまでもありません。ただ、地元の反彈圧京滋実行委員会としては、6月18日から2週間の京都地裁前の抗議行動の最後の日に武委員長の保釈が実現したことは、大衆的な抗議行動の成果を実感することができ、お二人と



もに喜びを分かち合いたいと思います。しかし、保釈されたとはいえ、裁判所は組合事務所への立ち入りや、組合員同士の接触、面会、電話、メールの一切を禁止するとの保釈条件を付けています。事実上の組合活動禁止にはかなりません。これら、憲法違反、ILO条約違反、国際人権規約違反の保釈条件を取り消させることが焦眉の課題です。同時に、保釈は完全無罪を勝ち取る、長い、困難な戦いの始まりにしかすぎません。

コロナ大感染に続く大不況・大失業に対抗するには、労働組合がその機能を存分に発揮することが問われています。そのために、この弾圧の意図を明らかにし、多くの労働者・市民による「労働組合つぶしの大弾圧を許さない」大きな陣形を創出し、コロナ禍を生き抜く展望を切り開くためにシンポジウムが企画されています。

## 6/21 シンポジウム

～今、見逃せない労働組合弾圧～

パネラー：永嶋靖久 弁護士（関生弁護士）

亀石倫子 弁護士（GPS捜査・冤罪事件と闘う弁護士）

竹信三恵子（ジャーナリスト、和光大学名誉教授）

吉田美喜夫（立命館大学名誉教授、労働法学者）

日時：6月21日 13:30開場 14:00開会

会場：学働館（事前申し込み先着100名）

申し込み先：[sodan@mu-kansai.or.jp](mailto:sodan@mu-kansai.or.jp)

（6/18 締め切り）

ライブ配信：[https://youtu.be/ce\\_wyXDfHz8](https://youtu.be/ce_wyXDfHz8)

（13:30以降接続）

## 【ご案内】6・24京丹後市行動

池田たかね



京丹後市の6月議会が始まりました。4月の市長選・市議選以降、初めて開催される議会です。この新たに発足した京丹後市政に対して、「京都連絡会」では京丹後市への申し入れおよび京丹後市役所前でのアピール行動に取り組みます。

Xバンドレーダー基地をめぐることは、このかん「緊急メンテナンス」を理由にして、米軍が昼夜を問わずに発電機を稼働させ、基地周辺では再び騒音問題が起こっています。さすがに京丹後市も米軍および近畿中部防衛局に対して、「夜間・早朝・休日」の発電機の稼働停止を申し入れました。しかし、事態は今のところ解決しておらず、米軍の都合が優先される実態があらためて浮彫になっています。

4月の京丹後市長選では、Xバンドレーダー基地を受け入れた張本人である中山泰氏が市長に返り咲きました。その後の記者会見で中山氏は、基地の「発足当時の〈約束〉が守られているか検証する」旨を表明しています。これが単なるポーズや米軍・防衛局への阿吽の呼吸でのやりとりでないならば、ぜひとも実際に検証を実行すべきです。事実にもとづいて徹底的に検証するならば、約束違反が累積しており、基地受け入れを撤回せざるを得なくなるはずです。

「京都連絡会」では、京丹後市が住民の立場に立って、米軍・防衛局の「約束違反」に対して毅然とした態度を取ること、基地問題に関する「検証」を実行し、基地受け入れの撤回を表明することを申し入れる予定です。

## 京丹後市長への要請行動と 市庁舎前でのアピール行動

とき 6月24日（水）午前8時30分

集合 鴨川五条大橋西詰の

ガソリンスタンド前

京丹後市役所前でのアピール行動および  
京丹後市への申し入れ等を予定

連絡先 池田 090-7108-5508

（注）梅雨と真夏日が続いています。日射病に気をつけ、住民が不安がらないようにマスクなど持参してください。

# 「沖縄慰霊の日」を迎えて 「沖縄屈辱の日」を糾す!

共同代表 大湾宗則

「沖縄屈辱の日」は、日本政府の国策によって沖縄・奄美などが対日講和条約第三条で日本から切り離され、米軍政下におかれた日のこと。

「沖縄慰霊の日」は、沖縄戦で大日本帝国陸軍が組織的戦闘を放棄した日であり、二度と沖縄を戦場にしないことを誓った日のこと。

沖縄の屈辱は、一つや二つでない。記憶にとどめるべきは①明治のはじめ天皇制政府から武力で併合(琉球処分)され、②先の大戦では「天皇制国体と本土防衛」のため捨て石として沖縄戦を強いられ、県住民の 1/3 が殺されたこと。

③敗戦後、沖縄は米軍政下におかれ、1952年 4 月 28 日発効したサンフランシスコ対日講和条約で日本の独立と引き換えに「奄美以南の沖縄島含む『南西諸島』は引き続き米軍の直接支配下」に置かれ、米軍基地被害の多くを押し付けられたこと。

④ 1972 年の「沖縄返還」が沖縄のためでなく、日米安保の下、日本のアジア支配のための軍事要塞化という屈辱を重ねて強いられたこと。

「沖縄の屈辱」は、「日本の平和と繁栄」の「人柱」にされてきたが、実はこの「日本の平和と繁栄」は、「沖縄の屈辱」を踏み台にした中国・朝鮮などに対する反共の「砦」・日米安保条約に基づくものであり、安保・沖縄闘争に敗北してきた日本に暮らす労働者人民がいかに資本と政府の排外主義の下で「帝国臣民」として屈服、惰眠させられてきたか、これほどの屈辱はないことに目覚めるべき時が来た。

戦後すでに 75 年。日本の多国籍資本が海外権益をアジアから世界に広げ、防衛力を高めるに依りて日本政府は、反共を煽りながら沖縄に在日米軍の 70 %を押し付け、自衛隊を沖縄諸島を含む日本列島全域に拡大し、東アジアの軍事的緊張を高め、これが日本政府による自衛隊海外派兵の口実であり、憲法改悪の布石である。

## 米軍政直接支配下と復帰後の沖縄民衆の闘い

この時期、沖縄には日本の憲法も米国の憲法も施行されず、ただ銃剣の下で米軍の布令・布告がまかり通っていた。基地拡張の土地取り上げ、女性への強姦、飲食不払い、暴力・殺人など。復帰後も在沖米軍基地は機能強化して居座

り、基地被害は後を絶たない。米軍政下、復帰後も沖縄の人々が命と暮らしを守るためにどんなに激しく、あきらめず団結して戦ったかは知ってのとおりです。

今、辺野古で、安和で塩川港で、そして嘉手納や普天間で戦っている。政府は県議選の結果も無視して 6/12 から



1972.5.15 復帰協のデモ(国際通)

工事再開した。闘いは困難を極めている。

このような時に沖縄県が委嘱した万国津梁会議が「辺野古新基地をやめさせるため、日米軍事再編を利用し普天間基地機能の日本各地等への分散配備で普天間返還」という趣旨の『提言』を玉城デニー知事に手渡した。

私たちは、日米安保の再編を前提とした『提言』を拒否する。なぜなら戦後一貫して「基地のない沖縄」を望んで頑張ってきた人々の心に反する。とりわけ 1972 年 5 月 15 日、沖縄の人々が政府の「沖縄復帰」に対して、沖縄民衆が雨中取り組んだ「5.15 沖縄返還糾弾」(写真)大会とデモは、沖縄に屈辱を強いる日本政府を弾劾し、「沖縄協定反対・安保廃棄・自衛隊の沖縄配備反対」を掲げて行われた。辺野古の闘いは沖縄の歴史的継承の上で闘われている。

## 6/23 「沖縄慰霊の日」を迎えて

沖縄を再び戦場にさせない!

「沖縄の屈辱」と日本人民の屈辱を糾す!

6月23日(火) 18 30開会 (開場 18 00)  
部落解放センター4階大ホール

映像(沖縄闘争)と報告

増野 沖縄県知事選と万国津梁会議「提言」批判

南野 沖縄基地反対闘争の現状と課題

大湾 「沖縄の慰霊の日と沖縄屈辱の日」を問う!

山本 「京都連絡会」からの闘争報告

主催 No Base! 沖縄とつながる京都の会

協賛 米軍 X バンドリーダー基地反対・京都連絡会